

日本医史学会会報

50号(復刊)

平成26年10月30日

第116回日本医史学会総会学術大会開催のご挨拶	会-1
第116回日本医史学会総会学術大会開催のご案内	会-2
第115回日本医史学会総会 会員大会	会-3
平成25年度関連医史学団体報告	会-9
雑報(寄贈本リスト)	会-18

第116回日本医史学会総会学術大会開催のご挨拶

会長 小曾戸 洋

第116回の本学会総会・学術大会は、田中祐尾先生を名誉会長に戴き、来年4月25・26日の両日、大阪の中心地である淀屋橋・本町界限にて開催致します。

大阪で開催することに致しましたのは、4年毎に開催される日本医学会総会が、同じく4月に京都・神戸を主とする関西地区で行われることに連携してのことです。

本来ならば関西の会員の先生に会長職をご依頼すべきでありますが、今回は公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋に多大なるご後援を仰ぐことになりましたので、僭越ながら同書屋の副館長を拝命している不肖私が会長職を務めさせていただきますことになりました。武田科学振興財団の横山巖理事長には先年より本学会の理事にご就任願っております。

前日の24日夕刻に行われる役員総会と、会期

中に催される展示会場は武田科学振興財団の一部を使用させていただきます。同財団は大阪十三の地に創設されて50年余りになりますが、昨年、道修町の武田薬品旧本社屋に移転致しました。同社屋は昭和3年に建設された歴史ある建物です。近くに多くの老舗製薬会社が集まっているのも見ものです。展示は杏雨書屋に所蔵されている近世京阪の名医家の資料紹介を企画中です。

学術大会および総会は近くの日本綿業倶楽部(備後町)で行います。同倶楽部は昭和6年に創建され、戦時の空襲に堪え焼け残った素晴らしい建築物で、現在国の重要文化財に指定されています。会員懇親会は、これまた近くの名建築で重要文化財に指定されている大阪市中央公会堂(淀屋橋)の中之島倶楽部を予定しています。この中央公会堂は昔、華岡青洲鹿城の含水堂があった地で、現在顕彰碑建立の計画が進められています。

アトラクションも企画中です。これら開催会場の幹旋に尽力下さった平松賢二実行委員長をはじめとする関係者にこの場を借りて御礼申し上げる次第です。

日本医史学会は社団法人ですので一般への公益性も求められます。そこで、市民公開講座を設け、くすりの道修町資料館の深澤恒夫館長には「道修町の今昔」、田中祐尾名誉会長には「近世大阪の医学—村落への浸透と継続」、町泉寿郎実行

委員には「漢蘭折衷の医学」と題する講演を依頼中です。

学会終了の翌日には、朝大阪を発ち京都近郊の薬用植物園や史跡を回るバスツアーを企画中です。

以上、実行委員一同、目下第116回の学会を成功させるべく総力を挙げ鋭意努力中です。会員の皆様のご参加とご支援を切にお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

第116回日本医史学会総会学術大会開催のご案内

実行委員長 平松 賢二

第116回日本医史学会総会・学術大会は8年ぶりに大阪での開催となります。今回は大阪でもくすりの町として知られています道修町界隈での実施となります。

2015年4月24日社員総会の会場は道修町にあります武田科学振興財団の会議室において開催されます。

4月25、26日の会員総会・学術大会は日本綿業倶楽部（日本綿業会館）で行われます。この建物は昭和6年竣工で重要文化財として登録されており、リットン使節団の来館や帝国陸軍、連合国軍（進駐軍）による接収など、戦前戦後の華やかな歴史の舞台となったところでもあります。会場は250～300平米で第1・2会場共に十分な広さを確保することができました。

また、25日の会員懇親会会場は、堂島川、土佐堀川に面した同じく重要文化財の大阪中央公会

堂内の中之島倶楽部を予定しています。このあたりに華岡鹿城の合水堂があったといわれています。

会場周辺には緒方洪庵の史跡・重要文化財 適塾や徐痘館記念資料室、神農さんで知られています少彦名神社、くすりの道修町資料館、杏雨書屋等一見に値する医史学所縁の場が徒歩圏にあります。ぜひ時間を見つけて北船場に息づく近代建築物や古い歴史と豊かな文化を街歩きでお楽しみください。

27日のエクスカージョンでは京都方面に赴き武田薬品と日本新薬の薬用植物園を見学します。その他蘭方医新宮涼庭縁の南禅寺隣の順正書院跡地は、現在湯豆腐の店「順正」として営業されておりコースに取り込む予定です。

大阪での久しぶりの日本医史学会、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第115回日本医史学会総会 会員大会

去る平成26年5月30日（金）に社員総会がホテル福岡ガーデンパレスで、31日（土）には会員大会が九州国立博物館ミュージアムホールで開催されました。下記の報告が承認され、協議事項については、全ての議案は可決されました。Ⅲ その他については、1. は承認され、2. は前向きに検討することとなり、3. は協力することが承認されました。

I. 報告事項（平成26年3月31日現在）

1. 平成25年度庶務報告

(1) 会員の動静

- ・ 入会者 50名
- ・ 退会者 56名

死亡会員 6名

ごとう しろう
後藤志朗（平成25年7月16日逝去）

はらけい じろう
原敬二郎（平成25年8月19日逝去）

ほそき ありまさ
細迫有昌（平成26年1月19日逝去）

にしむらよしあき
西村義明（平成26年1月 逝去）

ひ み たつろう
飛見立郎（平成25年5月10日逝去）

やましたせいぞう
山下政三（平成25年4月25日逝去）

都合退会 50名

- ・ 現在会員数 814名

正会員	750名	（内	団体会員26名、	海外会員45名）
学生会員	30名		名誉会員	10名
功労会員	21名		賛助会員	3名

(2) 受賞

平成25年5月11日	第25回矢数医史学賞	<small>おくさわやすまさ</small> 奥沢康正
平成25年5月11日	第19回日本医史学会学術奨励賞	<small>つきさわ みよこ</small> 月澤美代子
平成25年6月26日	レジオン・ドヌール勲章	<small>こばやし あきら</small> 小林 晶
平成25年	日本薬史学会賞	<small>たかはし ふみ</small> 高橋 文
平成25年	日本薬史学会奨励賞	<small>やなぎさわなみ か</small> 柳澤波香

2. 平成25年度事業報告

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第59巻第2・3・4号, 第60巻第1号 発行	
第114回日本医史学会総会 会長 <small>にしまさき あきひこ</small> 西巻 明彦		日本歯科大学生命歯学部 (東京都千代田区)	平成25年5月11日(土) ~12日(日)
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 4, 6, 10月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同	
		鶴見大学会館	平成25年9月21日(土)
日本医史学会11月例会	共催	神農祭との合同	
		湯島聖堂	平成25年11月23日(土)
日本医史学会12月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同	
		順天堂大学	平成25年12月14日(土)
神農祭	協賛	湯島聖堂	平成25年11月23日(土)
杉山検校生誕400年記念事業	協賛	(継続)	
心の絆プロジェクト	後援	個別訪問活動, シンポジウム	平成25年8月~10月
講演会「米国における医師・製薬企業関係の歴史—医薬品販売促進—」	後援	東京大学農学部弥生講堂	平成26年1月16日(木)
特別展『医は仁術』	後援	国立科学博物館	平成26年3月15日(土) ~6月15日(日)
医心方と医療文化史展2013	特別協力	護王会館護王神社	平成25年11月1日(金) ~3日(日)

○社員総会后に以下の事業報告の追加があった。

東洞祭 [後援] 於・広島大学広仁会館 平成25年9月8日(日)

3. 第26回回数医史学賞選考委員会報告

いづみ たかてる 泉 孝英「日本近現代医学人名事典」(医学書院)

4. 第20回富士川游学術奨励賞選考委員会報告

すずきたつひこ あだちりえこ なみきたかお ひらさきよしろう はなわとしひこ
鈴木達彦, 足立理絵子, 並木隆雄, 平崎能郎, 花輪壽彦

「華岡青洲の春林軒膏薬と李靖十二辰陣」(日本医史学雑誌第59巻第4号掲載)

5. 関連医史学団体報告 (資料A)

6. その他

II. 協議事項

第1号議案 平成25年度決算報告に関する件（資料1-2）

第2号議案 平成26年度事業計画案に関する件

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第60巻第2・3・4号, 第61巻第1号 発行	
第115回日本医史学会総会 会長 ヴォルフガング・ミヒェル		九州国立博物館 (福岡県太宰府市)	平成26年5月31日(土) ～6月1日(日)
第116回日本医史学会総会 会長 小曾戸 洋	(準備)	三井ガーデンホテル 大阪淀屋橋(大阪市)	平成27年4月25日(土) ～26日(日)
第117回日本医史学会総会 会長 山崎正寿	(準備)	(広島)	平成28年
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 4, 6, 10, 11月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同 鶴見大学	
日本医史学会12月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・日本看護歴史学会・洋学史学会との合同 順天堂大学	
神農祭	協賛	湯島聖堂	平成26年11月23日(日)
杉山検校生誕400年記念事業	協賛	(継続)	
医心方と京都の医学史展2014	特別協力	護王会館護王神社	平成26年11月1日(土) ～3日(月)

○社員総会后に以下の事業計画の追加があった。

東洞祭〔後援〕 於・広島大学広仁会館 平成26年9月14日(日)

第24回漢方治療研究会〔後援〕

於・ホテルグランドパレス(東京都千代田区) 平成26年9月28日(日)

日本薬史学会2014年会〔後援〕 於・九州大学医学部百年講堂 平成26年11月22日(土)

○第116回日本医史学会総会の予定会場は、三井ガーデンホテルから日本綿業倶楽部に変更。

○第117回日本医史学会総会については現在地元と再調整中。

第3号議案 平成26年度予算案に関する件（資料3）

III. その他

1. 月例会の運営について

矢数医史学賞と学術奨励賞の受賞者には月例会で発表していただく企画および、学会の先達の先生方に、仕事と時代をふりかえってお話を頂く企画の提案があった。

2. 華岡青洲の碑の建碑について

華岡鹿城のご子孫から、華岡青洲の碑を中之島公園に建てるための協力要請があった。

3. 国文学研究資料館の電子資料館について

国文学資料研究館より「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」への協力要請があった。

資料1

貸借対照表

平成26年3月31日現在

科目	金額	備考
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	314,631	
預金	12,007,148	
流動資産 合計	12,321,779	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産 合計	0	
(2) 特定資産		
特定預金	8,706,686	
矢数医史学賞基金	5,021,353	
富士川游学術奨励賞基金	1,566,355	
特定資産 合計	15,294,394	
(3) その他固定資産		
その他固定資産 合計	0	
固定資産 合計	15,294,394	
資産 合計	27,616,173	
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	4,188,000	
預り金	26,561	
仮受金	5,000	
流動負債 合計	4,219,561	
2. 固定負債		
固定負債 合計	0	
負債 合計	4,219,561	
III 正味財産の部		
1. 一般正味財産		
正味財産 合計	23,396,612	

資料2

正味財産増減計算書


自平成25年4月1日
至平成26年3月31日

科目	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 会費収入	8,499,550	
② 助成金	0	
③ 寄付金	0	
経常収益計	8,499,550	
(2) 経常費用		
① 学会誌刊行費	4,663,389	
② 事業費	1,299,209	
③ 人件費	2,786,210	
④ 会議費等	61,930	
⑤ 旅費交通費	459,020	
⑥ 通信・運送費	120,279	
⑦ 事務費	40,940	
⑧ 支払手数料	150,000	
⑨ 雑費	32,720	
経常費用計	9,613,697	
当期経常増減額 = (1) - (2)	-1,114,147	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
① 受取利息	3,544	
② 医史資料譲渡益	7,617,750	
経常外収益計	7,621,294	
(2) 経常外費用		
経常外費用計	0	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	7,621,294	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	6,507,147	
一般正味財産 期首残高	16,889,465	
一般正味財産 期末残高	23,396,612	
II 正味財産期末残高	23,396,612	


定款第31条に従い、平成25年度の資産及び会計について監査した結果、理事の職務執行に不備の点はなく、決算報告書は正確かつ妥当であることを認めます。

平成26年4月14日

監事

蔵方宏昌 

監事

柳澤波香 

資料3

平成26年度予算

科目	決算	予算	備考
	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	8,499,550	8,660,000	
② 助成金	0	0	
③ 寄付金	0	800,000	
経常収益計	8,499,550	9,460,000	
(2) 経常費用			
① 学会誌刊行費	4,663,389	4,600,000	
② 事業費	1,299,209	1,100,000	
③ 人件費	2,786,210	2,800,000	
④ 会議費等	61,930	60,000	
⑤ 旅費交通費	459,020	450,000	
⑥ 通信・運送費	120,279	130,000	
⑦ 事務費	40,940	40,000	
⑧ 支払手数料	150,000	150,000	
⑨ 医学会負担金	0	90,000	
⑩ 雑費	32,720	20,000	
経常費用計	9,613,697	9,440,000	
当期経常増減額 = (1) - (2)	-1,114,147	20,000	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取利息	3,544	3,544	
② 医史資料譲渡益	7,617,750	0	
経常外収益計	7,621,294	3,544	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	7,621,294	3,544	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	6,507,147	23,544	
一般正味財産 期首残高	16,889,465	23,396,612	
一般正味財産 期末残高	23,396,612	23,420,156	
II 正味財産期末残高	23,396,612	23,420,156	

(資料A)

平成25年度 関連医史学団体報告

北海道医史学研究会 事業報告

北海道医史学研究会幹事会

平成25年4月16日・北海道医師会館

議題及び承認事項

1. 合同学術集会について

日本薬史学会北海道支部が当番幹事，10月26日午後3時から開催

平成25年度北海道医史学研究会 総会

平成25年10月26日 AKK ビル

第8回医史・薬史合同学術集会

平成25年10月26日 AKK ビル

〈プログラム〉

開会挨拶（15:00～15:10）

日本薬史学会北海道支部 支部長代行 吉沢逸雄

北海道医史学研究会代表幹事 島田保久

特別講演（15:10～16:10） 座長 八木直美

男女共同参画社会において女性薬剤師会が果たす役割

～北海道女性薬剤師会設立85年からの検証～

講師 山口路子（北海道女性薬剤師会 会長）

一般演題Ⅰ（16:15～16:35） 座長 寺沢浩一

1. 松前藩時代の医家修学について

島田保久（元町整形外科）

2. ロシア病院にて従学した日本人医家について

島田保久（元町整形外科）

一般演題Ⅱ（16:35～16:55） 座長 小寺 一

1. 我が国における近代歯科医学教育の発祥と「医歯二元論」

坂田道昭，中野一博，戸田徳和，佐藤英俊（北海道歯科医師会）

2. 北海道における近代歯科医療の黎明期と北海道歯科医師会の設立

河野崇志，佐々木ミッシェル英介，後藤 衛，金井義明，富野 晃（北海道歯科医師会）

一般演題Ⅲ（16:55～17:15） 座長 西部三省

1. 後志の薬史（人物編）「アスパラガスの父」と称えられた薬剤師：下田喜久三

小松健一，島森美光（北海道薬科大学），西川 隆，吉沢逸雄（日本薬史学会）

2. 明治23年の薬剤師国家試験について

本間克明（株式会社ファーマホールディング）

閉会挨拶（17:15～）

小松健一（日本薬史学会北海道支部）

以上

島田保久（北海道医史学研究会代表幹事）

新潟支部 報告

今年度は支部としての例会、研究発表は行われなかった。支部事務局の所在は従来どおり、日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館である。

平成25年度(2013年)中の支部会員の学会発表などは次の通りである。

1) 学会・研究会などでの発表

- ・ 第114回日本医史学会・第41回日本歯科医史学会合同総会発表
(5月11～12日 千代田区・日本歯科大学)
 - 〈会長講演〉19世紀初頭の日本における痘瘡対策 西巻明彦
 - 明治18年に東京府が実施した郡区医採用試験について 樋口輝雄
 - 緒方洪庵『虎狼刺治準』(安政5年)にみるコレラの看護法 平尾真智子
- ・ 日本医史学会関西支部2013年秋季学術集会(11月10日 京都市下京区・龍谷大学)
 - 三宅建治『日本居家秘用』(1737)にみる大阪庶民の看病 平尾真智子
 - 男衾三郎絵巻にみる口腔観 西巻明彦
- ・ 新潟関屋地区公民館主催講座(7月13日 新潟市中央区・日本歯科大学新潟生命歯学部)
 - おも知ろ関屋学 樋口輝雄
- ・ 日本看護歴史学会第27回学術集会(8月31日～9月1日 京都市上京区・京都府立医科大学)
 - 和装毛筆書『東京慈恵医院看護学』とアメリカ初期の看護教科書
『ハンドブック・オブ・ナーシング』 平尾真智子・坪井良子
 - 〈ワークショップ〉看護歴史研究の方法論—重壽 その2 平尾真智子
- ・ 中津市マンダラゲの会
 - 日本最初の翻訳看護書『看病心得草』(明治7年)を発刊した田代基徳 平尾真智子
- ・ 三水会400回記念講演(12月1日 新潟市中央区・ホテルオークラ)
 - 幕末(1851年)から昭和29年(1954年)までの日本の整形外科教科書について 蒲原 宏

2) 著作ならびに論文等

- ・ 整形外科の歴史(187)～(198) 20世紀初期から中後期へ
 - アメリカ整形外科の近代化(37)～(48) 蒲原 宏
 - ※“整形外科の歴史”は『整形外科看護』18巻1号～12号(2013年1～12月)に連載
- ・ 北区内島見・近藤家文書について その二
 - 当道座文書について(続), 新発田郷土史, 第41号, 112-119. 広瀬 秀
- ・ 平治物語絵巻にみる口腔観, 日本歯科医史学会々誌, 30巻3号, 267-272. 西巻明彦
- ・ 『看病手引歌』(文政10年刊)にみる仏教思想に基づく看護,
 - 日本看護歴史学会誌, 第27号, 67-78. 平尾真智子
- ・ わが国最初の翻訳看護書の原著解明と看護史上の意義
 - 一田代基徳・岡田宗訳『看病心得草』(明治7年), 日本医史学会雑誌, 49巻3号, 391-405. 平尾真智子
- ・ 緒方洪庵『虎狼刺治準』にみるコレラの看護法, 医譚, 第98号, 9-21. 平尾真智子
- ・ 「看病第一福田」思想の根拠としての『梵網経』,
 - 仏教看護・ビハーラ, 第8号, 89-98. 平尾真智子

- ・長野県諏訪地方の禁酒運動—松浦有志太郎の係りを中心に—
医譚, 第98号, 63-69.

小関恒雄

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館内
電話 025-267-1500 FAX 025-267-1134
日本医史学会新潟支部（樋口輝雄）

北陸医史学会 総会・例会報告

第35回総会・例会を以下の通り開催した。

日時・平成25年7月7日（日）

会場・金沢医科大学アナトミーセンター

午前10時開会～午後3時半閉会

1. 会長挨拶

2. 研究発表（午前の部）

①扁鵲石針治療図について

吉村 信

②金沢医学館第一期生の集合写真はどこで撮影されたか

山本 健

板垣英治

赤祖父一知

③藤本文庫収蔵・金沢医学館関係者の写真と撮影した写真師について

板垣英治

3. 総会・昼食

4. 研究発表（午後の部）

④金沢医科大学・臨時医学専門部戦没学生・生徒・同窓生調査

山本 博

高田知代子

⑤絵画にみる Arzt

寺畑喜朔

⑥長崎家収蔵の『重訂解體新書』について

正橋剛二

⑦追加発言

板垣英治

⑧明治大正両天皇臨幸記念碑文について（誌上発表）

赤祖父一知

5. 総会議事

①平成24年度活動報告

②平成24年度決算報告（次表）

平成25年度予算（例年通りの事業活動経費のみのため略）

いずれも原案通り可決された。

③赤祖父一知会長からその職を退きたい旨の意思表示があり、承認を得たのち山本博金沢大学大学院教授を次期会長に推薦し、同氏の受託を得て決定された。

6. 会務報告

①平成25年2月28日に会誌通刊第35号を発行した。

②役員関係

富山県選出飛見立郎幹事平成25年5月10日逝去、後任未定

③幹事会・連絡会

・平成24年12月4日（火）於ホテル金沢 北の庄

・平成25年3月10日(日) 於ホテル金沢 北の庄

④会員異動 退会 1名

平成25年現在 会員数 33名

7. その他

①次号第37号会誌掲載の投稿原稿は、締切り平成26年11月末。厳守のこと。

②年会費の振込口座(普通)は、従来通り北陸銀行小立野支店。ただし、代表が会長名になっているので、赤祖父一知から山本博に変更。

平成24年度決算書

〈収入の部〉

	金額	内訳等
会費	100,000	5,000円×20人
掲載料+別刷代	16,000	
受取利息	102	
前年度繰越金	598,256	
合計	714,358	

〈支出の部〉

事務費	12,890	通信・送料
	210	文具代
事業費	80,325	印刷費含振込手数料(ハナフサ35号)
	16,315	印刷費別刷代含振込手数料(ハナフサ)
学会開催前渡金	50,000	
合計	159,740	

収入 支出 差引残高
714,358 - 159,740 = 554,618 次期へ繰越

事務局

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大字1-1
金沢医科大学看護学部に 篠原治道

日本医史学会神奈川地方会

第41回神奈川地方会秋季例会と日本医史学会9月学術例会の合同例会

日時：平成25年9月21日(土)

場所：鶴見大学学生会館

総会

1. 荒井保男会長挨拶
2. 25年度会計報告

一般講演

1. 滝上 正 「人体感染実験 (1)」
2. 椎橋忠男 「日清・日露戦争と疾病」
3. 春日広美 「在宅看護学の教育の変遷と課題」

特別講演

生麦事件参考館長 浅海武夫氏 「近代国家成立の発端となった生麦事件」

第42回神奈川地方会春季例会と日本プライマリ・ケア神奈川連合会と協賛の例会

日時：平成26年3月22日(土)

場所：鶴見大学大学会館

総会

1. 荒井保男会長挨拶
2. その他

一般講演

1. 鈴木浩一郎 「島峯徹氏によるアイヌ人の口腔内調査記録」
2. 関根透, 戸出一郎, 杉田暉道, 荒井保男 「神奈川地方会の設立から今日まで」

特別講演

柏木政伸先生 「日本医学の近代化に尽くした東京大学医学部初代解剖学教授・田口和美博士について」

なお、昨年度(平成24年度)の付記

平成24年11月23日の「第54回神奈川医学会総会・学術大会」(神奈川県総合医療会館)において、神奈川地方会会長として荒井保男先生が「日本医史学会神奈川地方会の流れ」について講演された。

神奈川地方会事務・鶴見大学歯学部人文研究室内(文責：関根 透)

東海支部 報告

下記講演会の後援活動を行った。

『伊藤圭介日記』(第19集)出版記念会 一洋学史学会1月例会共催一

平成26年1月26日(日) 午後1時~4時15分
(於名古屋市東山植物園植物会館研修室)

【記念講演】

水谷豊文の山本亡羊宛て新出書簡の紹介	遠藤正治氏
「救荒食物便覧」と伊藤圭介	杉村啓治氏
圭介が協力した大槻如電の『日本洋学年表』	幸田正孝氏
「明治十七年十二月東京大学植物園写生図」(目録)および小石川植物園所蔵 木材扁額について	邑田裕子氏
東山植物園所蔵の伊藤圭介同定植物標本	加藤僖重氏
伊藤篤太郎研究雑録(2)	岩津都希雄氏

(山内一信・高橋 昭)

関西支部 活動報告

▽日本医史学会関西支部 2013 年秋季大会 (25 年度春季は開催なし)

平成 25 年 11 月 10 日 (日) 於・龍谷大学大宮学舎 清和館 共催：京都医学史研究会

〈一般演題〉

1. ベルツ博士最期の大病 一病没 100 年を迎えて一 山上勝久 (大阪市立大)
2. 回回薬方の折傷門接骨類について 猪飼祥夫 (龍谷大学)
3. 斑鳩寺所蔵漆喰製地球儀は寺島良安作か 飯塚修三 (西宮市)
4. 生誕二百年 緒方郁蔵の著訳書について 古西義磨 (堺市)
5. 夏目漱石“修善寺の大患”時、鏡子夫人の書簡について 吉條久友 (大阪市立大)
6. 角倉・吉田一族と曲直瀬玄朔の関係 奥沢康正 (京都市)
7. 角倉素庵 一悪疫を生き抜いた京の豪商一 葉山美知子 (横浜市)
8. 欧学舎独逸学校教師 R. レーマン門下のドイツ語教師原口隆造の功績
榊原正義 (藤田保健衛生大)
9. 清水次郎長が連れてきた二人の土佐の医師 ～渡辺良三と植木重敏
植木 豊 (NHK 科学健康部)
10. 三宅建治『日本居家秘用』(1737) にみる大阪庶民の看病 平尾真智子 (順天堂大)
11. ボードインの大坂の講義録について 相川忠臣 (長崎原爆病院)
12. 上方蘭学者吉雄元吉の『巻木綿之図』について ヴォルフガング・ミヒェル (九州大学)
13. 男衾 (オブスマ) 三郎絵巻にみる口腔観 西巻明彦 (東京都)
14. 杏雨書屋所蔵の神農像の逸品 小曾戸洋 (北里大東洋医研)
15. 18 世紀前半セント・トマス病院における臨床医学の興隆 柳澤波香 (東京都)
16. 大関和と家庭看護書 一『家庭看護法』について一
○上坂良子 (看護史研究会) 水田真由美 (和歌山医大)
17. 王好古『広為大法』について 三鬼丈知 (大阪市立大学)

《特別講演》

『琉球の医学』 龍谷大学文学部教授 都築晶子

《紙上発表》

1. 「死生は問わず」考 小曾戸明子 (八王子市)
2. 三田谷啓による「低能児」に関わる提言 (1915 年 4 月 18 日学校衛生講演会)
小野尚香 (神戸親和女子大)
3. 「日本眼科 36 年の歩み」—世界眼科会議に寄せて 園田真也 (枕崎市)
4. いわゆる『儒医』についての考察—そのⅢ 田中祐尾 (大阪市立大)

▽支部機関誌『醫譚』97 号 平成 25 年 6 月 20 日発行

支部機関誌『醫譚』98 号 平成 25 年 12 月 15 日発行

上述機関誌の掲載目次は関西支部メールアドレス (下記) をお開き下さい。

〒581-0003 大阪府八尾市本町 5-1-7 田中医院内

日本医史学会関西支部事務局 (田中祐尾)

☎: 072-922-2028 FAX: 072-993-1237 HP: <http://mhkansai.umin.ne.jp/>

京都医学史研究会 活動報告

▽機関紙『啓迪』第30号発刊

香川修庵と「医事捷徑」・「一本堂雑話」(後)	杉浦守邦
近江婦人慈善会蒲生支会の看病婦養成(六)	八木聖弥
京都帝国大学松岡道治教授の突然の退官について	廣谷速人
新島八重の兄・山本覚馬の失明原因の謎解き	奥沢康正
上田正昭先生と珠玉の二時間を共有できたことの顛末	葉山美知子

▽第236回例会 平成25年10月31日 於・京都府医師会館(京都府医師会と共催)

講演「東アジアの万能薬とその治療薬」 京都大学人文科学研究所教授 武田時昌先生

▽第237回例会 平成25年11月10日 於・龍谷大学大宮キャンパス 清和館

(日本医史学会関西支部秋季大会と共催)

会員発表 角倉・吉田一族と曲直瀬玄朔の関係	奥沢康正
角倉素庵 一悪疫を生き抜いた京の豪商一	葉山美知子

▽第238回例会 平成26年3月27日 於・京都府医師会館(京都府医師会と共催)

講演『日本人の睡眠 その変化 ～睡眠文化の視点で』
NPO睡眠文化研究会事務局長・睡眠改善インストラクター 鍛治 恵先生

▽医心方と医療文化史展2013

平成25年11月1日～11月3日 於・護王会館

主催 医療文化史サロン協賛会・京都医学史研究会・
京都大学人文科学研究所科学史研究室・京都府立医科大学社会科学研究室
展示協力 今井賢治(明治国際医療大学臨床鍼灸学講座・教授)
谷口 授(明治国際医療大学臨床鍼灸学講座・助教)

▽槇佐知子 全訳精解『医心方』全33冊の寄贈

医療文化史サロン協賛会運営委員長・京都医学史研究会会員 半井英江氏が『医心方』全33冊(筑摩書房)をケンブリッジ大学に寄贈されました。

▽その他 平成26年3月9日

府医師会を代表して京都医学史研究会2人が「盟親」の山脇東洋観臓記念碑に献花(建碑から38周年)、ついで誓願寺墓地内山脇東洋夫妻の墓・山脇社中解剖供養碑に供花した。

〒604-8585 京都市中京区西ノ京梅尾町6 京都府医師会館内
京都医学史研究会 会長 中橋彌光

日本医史学会広島支部・岡山医学史研究会 合同学術集会

日時 平成26年1月25日(土) 13時～
場所 広島大学医学部基礎講義棟第一講義室

1. 日本医史学会広島支部総会

2. 日本医史学会広島支部・岡山医学史研究会合同発表会

座長 広島国際大学 隅田 寛

演題1. ルカチ君と解体新書—古書に魅せられたフランスの化学者— 江田島市 森原和之

演題2. ポンペの医学伝習(2) 門前歯科医院 門前弘美

演題3. 元岡山県知事・三木行治医師の公衆衛生(3)

—三木行治と山崎始男の関係— 倉敷仁風ホスピタル 高水寛治

座長 長崎病院理事長 長崎孝太郎

演題4. 日清戦争期における陸軍の脚気対策

—広島陸軍予備病院で実施された治療と看護を中心として—

広島国際大学 坂村八恵, 隅田 寛, 千田武志

演題5. 後世方について

広島国際大学保健医療学部 中島正光

座長 広島国際大学名誉教授 千田武志

演題6. 広島市公文書館所蔵の都築正男資料について

広島大学病院特命広報・調査担当役 山内雅弥

演題7. 前野良澤の蘭学研究

広島大学医学部附属医学教育センター 川和田晶子

コーヒーブレイク(10分間)

3. 特別講演会

座長 安佐医師会 桑原医院 桑原正彦

①近代医学の誕生 —ポンペ, ボードインと彼らの弟子達— 長崎大学名誉教授 相川忠臣

座長 広島大学 河野修興

②ルネッサンスの画家たちと近代医学の源流 元広島大学長 原田康夫

福岡地方会 活動報告

平成25年度福岡地方会は、下記の通り1度の研究発表会を開催いたしました。次年度は第115回総会・学術大会開催(2014.5.31~6.1)と8月に定例の研究発表会開催の予定です。

第24回 福岡地方会

開催日時:平成25年8月31日(土)14時30分から

会場:福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4丁目8-15)

参加者数:19名(発表者を含む)

【発表者・演題】

お名前(五十音順)	演 題
木村専太郎	田代三喜掃苔記 埼玉越生・栃木足利・茨城古河探訪
隈部敏明	秋月藩医 戸原歴庵日記の一考察(その2)
黒木俊秀	榊 保三郎教授のお話
小林 晶	医史学者としての森 優先生
権藤寿昭	諸子百家と中医学(特に孫子兵法と易経について)
佐藤 裕	ヴェローナ・パドヴァ医学史紀行

柴田浩一	鷗外とドイツで出会った哲学者・井上哲次郎
富田英壽	司馬江漢著『種痘傳法』 一緒方春朔に種痘を習い自分の孫に実施—
仁保喜之	橋本策博士のふるさと（その3）
原 寛	解剖書に見る西洋と日本 医学教育を考える
松岡順之助	個（医療）と集団（医学）についての考察 本年6月29日にPOS医療学会に報告したもので取上げた医学史的なことについて、諸先生のご意見を伺いたく報告します。

雑報

寄贈本リスト

【単行本】

- 深瀬泰旦『伊東玄朴とお玉ヶ池種痘所』「出門堂」2012
- 赤祖父一知・寺畑喜朔『金沢大学医学部 百五十年史のための覚え書』2013
- 後藤秀機『天才と異才の日本科学史』「ミネルヴァ書房」2013
- 新 村拓『日本仏教の医療史』「法政大学出版局」2013
- 鳥井裕美子『前野良沢』「大分県教育委員会」2013
- 森川潤『青木周弼の西洋医学学校構想』「雄松堂書店」2013
- 八木聖弥『近代京都の施薬院』「思文閣出版」2013
- 吉元昭治『「道蔵」等中国医学関係経典索引』「吉元昭治」2013
- 若木太一 編『長崎 東西文化交渉史の舞台』「勉誠出版」2013
- 赤川 学『明治の「性典」を作った男』「筑摩選書」2014
- 石原 明『漢方—中国医学の精華』「吉川弘文館」2014
- 海原 亮『江戸時代の医師修業 一学問・学統・遊学一』「吉川弘文館」2014
- 遠藤正治・加藤喜重・幸田正孝・松田清『宇田川榕菴植物学資料の研究』「武田科学振興財団」2014
- 太田安雄『太田雄寧傳』「雄寧会」2014
- 大牟田太朗『加治時次郎の生涯とその時代』「鳥影社」2014
- 大森弘喜『フランス公衆衛生史』「学術出版会」2014
- 尾脇秀和『近世京都近郊の村と百姓』「思文閣出版」2014
- 古西義麿『緒方郁蔵伝 一幕末蘭学者の生涯一』「思文閣出版」2014
- 佐賀大学・地域学創出プロジェクト編『佐賀学Ⅱ』「岩田書院」2014
- 順天堂大学175年史編纂委員会『写真で見る順天堂史 一175年の軌跡一』「順天堂」2014
- 鈴木則子編『歴史における周縁と共生 女性・穢れ・衛生』「思文閣出版」2014
- 武智秀夫『軍医 森鷗外のドイツ留学』「思文閣出版」2014
- 原 寛『博多に生きた藩医 原三信の四百年』「石風社」2014
- 日暮雅通訳『死刑執行人 一残された日記と、その真相一』「柏書房」2014
- ミヒェル・ヴォルフガング, 吉田洋一, 大島明秀 共編『中津市歴史民俗資料館分館 医家史料館叢書Ⅷ 人物と交流Ⅲ』「中津市教育委員会」2014
- 八木素萌『汎用太鍼その運用』「漢法苞徳会」2014
- 吉元昭治『日本の神話・伝説を歩く』「勉誠出版」2014
- 公益社団法人日本産科婦人科学会震災対策・復興委員会『災害対策マニュアル』2014
- 日本医科大学史料館(仮称)設立準備室・医史学研究会 編集『医史学研究: 日本医科大学史料館(仮称) 設立準備室年報2013年』「日本医科大学」2014
- 羽場俊秀『相良知安 一医と易一』「佐賀新聞社」2014

【別刷】

- 『山形県済生館と河北』小形利彦「河北の歴史と文化」(10)
- 『華岡青洲(3代随賢)末裔(本家)所蔵の国別門人録について(2)』梶谷光弘「日本医史学雑誌」59(4)
- 『華岡青洲(3代随賢)末裔(本家)所蔵の国別門人録について(1)』梶谷光弘「日本医史学雑誌」59(3)

- 『華岡青洲(3代随賢)末裔(本家)所蔵の国別門人録について(3)』梶谷光弘「日本医史学雑誌」60(1)
- 『華岡青洲門人石堂鼎と妹背家—華岡家を支え続けた功労者—』梶谷光弘「日本医史学雑誌」60(1)
- 『松江藩医北尾家の系譜について』梶谷光弘「松会歴史館研究紀要」(4)
- 『華岡家門人錦織玄道が筆写した「華岡青洲先生門人姓名録」について(翻刻)』梶谷光弘「島根県古代文化センター「古代文化研究」」(22)
- 『江戸時代に制作された木骨について—I.星野木骨—』片岡勝子,安嶋紀昭,洲崎悦子,伊藤勝陽,井上正規,島谷智彦,栗栖薫,石川武憲,狩野充徳,馬場悠男「広島医学」67(1)
- 『山形県初の女性薬剤師松田りつについて』工藤仁一,宮地文也,松田泰助,小形利彦「河北の歴史と文化」(10)
- 『六史学会参加記』五位野政彦「東京都病院薬剤師会雑誌」63(2)
- 『大阪の除痘館における「出張」をめぐる』古西義麿「御影史学論集」38
- 『足立文太郎教授の解剖学教科書』島田和幸「解剖学雑誌」71(2)
- 『明治初期の系統解剖学書 1.『解剖訓蒙』について』島田和幸「形態科学」2(1)
- 『明治初期の系統解剖学書』島田和幸「鹿児島大学歯学部紀要」19
- 『明治初期の解剖学書—最初に紹介されたグレー解剖学書について—』島田和幸「形態科学」6(2)
- 『明治初期の解剖学書—中国より輸入された解剖書『全體新論』について—』島田和幸「形態科学」6(2)
- 『明治初期の解剖学書—明治期最初の翻訳解剖学書について—』島田和幸「形態科学」6(2)
- 『明治期の解剖学書—足立文太郎訳による局所解剖学図譜—』島田和幸「形態科学」7(1)
- 『明治期の解剖学書—日本で最初の美術解剖学書について—』島田和幸,宮永美知代「形態科学」7(2)
- 『明治期の解剖学書—日本で最初の神経解剖学図譜について—』島田和幸「形態科学」7(2)
- 『明治期の解剖学書—系統だった最初の解剖学教科書について—』島田和幸「形態科学」8(1)
- 『明治期の解剖学書—日本で最初の組織学教科書について—』島田和幸「形態科学」8(1)
- 『本邦で最初の健常人に関する諸資料集『醫事表』について』島田和幸「形態科学」8(2)
- 『明治初期の解剖学書—佐々木師興(東洋)の著した解剖学書について—』島田和幸「形態科学」8(2)
- 『本邦で最初の解剖学用語集—『解体学語箋』について—』島田和幸「形態科学」9(1)
- 『明治期の解剖学書—人体に関する最初の啓蒙書『初學人身窮理』について—』島田和幸「形態科学」9(1)
- 『明治初期の解剖学書 最初の解剖学講義録—『日講紀聞 東京醫覺醫科全書 解剖篇』について—前編』島田和幸「形態科学」9(2)
- 『明治初期の解剖学書 最初の解剖学講義録—『日講紀聞 東京醫覺醫科全書 解剖篇圖譜』について—後編』島田和幸「形態科学」9(2)
- 『明治期の解剖学書 森鷗外的美術解剖学書—『藝用解體學』について』島田和幸「形態科学」10(1)
- 『明治期の解剖学書—開業医術試験のための参考書『七科約説』解剖科について—』島田和幸「形態科学」10(1)
- 『明治期の解剖学書 医術開業試験の為の準備書—『醫學七科問答』とその圖式—』島田和幸「形態科学」11(1)
- 『明治期の解剖学書—『人體要論』について—』島田和幸「形態科学」11(1)
- 『解剖学書誌から見た日本における近代解剖学の始め—明治期について—』島田和幸「解剖学雑誌」82(1)
- 『我が国の近代解剖教育の歴史をめぐる』島田和幸「解剖学雑誌」82(1,2)
- 『Hepburn(ヘボン)が我が国で『衛星・生理学』の講義に使用していた教科書について』島田和幸「形

態科学」10(2)

- 『明治期の解剖学書 一本多錦吉郎による翻訳美術解剖書について』島田和幸「形態科学」10(2)
- 『美術解剖学教育の初期に使用されていた海外の美術解剖学書について』島田和幸, 宮永美知代「美術解剖学雑誌」11(1)
- 『衛生鏡 人身體內政事記』について』島田和幸「形態科学」11(2)
- 『明治期の解剖学書 一野口英世の『歯牙形態學』について』島田和幸「形態科学」11(2)
- 『フランスの解剖学者 Mathias-Marie Duval について』島田和幸「美術解剖学雑誌」12(1)
- 『明治期の解剖学書 一学年試験・醫術開業試験準備の為の簡易解剖学書について』島田和幸「形態科学」12(1)
- 『明治期の解剖学書 一日本人による最初の局所解剖学書について』島田和幸「形態科学」12(1)
- 『家畜醫範』(解剖學編)について 一明治期の獣医学書について』島田和幸「形態科学」12(2)
- 『重訂解體新書』について 一特に「名義解」の内容を中心として』島田和幸「形態科学」12(2)
- 『明治期の解剖書 一鈴木文太郎著『解剖術式手訣』について』島田和幸「形態科学」13(1)
- 『一明治末期に出版された人体に関する啓蒙書について 一糸 左近著『生理と病理』について』島田和幸「形態科学」13(1)
- 『江戸時代に出版された代表的な生理学書に関して 一『醫原樞要』, 『人身究理學小解』と『生理発蒙』について』島田和幸「形態科学」13(2)
- 『清王朝 康熙帝時代に漢・満語に訳された解剖書 一Dionisの解剖書について』島田和幸「形態科学」13(2)
- 『明治期における歯科医学に関する書について 一高山紀齋著の『保歯新論』, 『衛生保歯問答』について』島田和幸「形態科学」14(1)
- 『明治期の解剖書 一最初の歯科の翻訳解剖学教科書『齒科解剖學』について』島田和幸「形態科学」14(1)
- 『明治期初期の産婦人科の教科書 一イギリス人女医による我が国で最初の口述書について』島田和幸「形態科学」14(2)
- 『明治初期の解剖・生理学書 一『啓蒙養生訓』について』島田和幸「形態科学」14(2)
- 『『和蘭内景西説醫範提』とその図譜書である『醫範提綱内象銅版圖』について』島田和幸「形態科学」15(1)
- 『ブランカートの解剖学書『Anatomia reformata』とその翻訳写筆本について』島田和幸「形態科学」15(1)
- 『明治期の解剖書 一マンズフェルト口授による筆記解剖学教科書について』島田和幸「形態科学」15(2)
- 『明治初期の解剖・生理学書 一『生理略説』について』島田和幸「形態科学」15(2)
- 『明治期に出版された坪井正五郎に関係する人類学書について』島田和幸「形態科学」16(1)
- 『明治初期の解剖書 一緒方惟準訳述による『解剖学』について』島田和幸「形態科学」16(1)
- 『占領期歯科教育改革の事例研究 一東洋女子歯科医学専門学校』永藤欣久「日本歯科医史学会々誌」30(3)
- 『混乱している発病関連語の用法を考察する』福田勝洋, 三宅浩次「日本医師会雑誌」143(1)
- 『富士川游と治療教育学』前田晶子「『日本の教育史学』教育史学会紀要」56

【雑 誌】

『あいみっく』34(3-4), 35(1-3) 国際医学情報センター

- 『BIBLIA』(140-142) 天理図書館
『Chinese Journal of Medical History』43(2-6), 44(1-2) Chinese Medical Association
『Chinese Medical Journal』126(15-24), 127(1-16) Chinese Medical Association
『だより(練馬区医師会)』(547-560) 練馬区医師会
『福井県医師会だより』(628-641) 福井県医師会
『北陸医史』(36) 北陸医史学同好会
『醫譚』(通刊 115-116)(復刊 98-99) 日本医史学会関西支部
『医道の日本』72(10-12), 73(1-11) 医道の日本社
『いわちどり(小笠医師会誌)』(41) 小笠医師会
『JMAJ』56(3-6), 57(1) Japan Medical Association
『除痘館記念資料室だより』(6) (財)洪庵記念会. 除痘館記念資料室
『漢方の臨床』60(9-12), 61(1-10) 東亜医学協会
『漢方と鍼』37(4), 38(1-4) 北里研究所東洋医学総合研究所だより
『啓迪』(30) 京都医学史研究会
『神奈川県医学会雑誌』41(1-2) 神奈川県医師会
『杏雨』(17) 武田科学振興財団
『研究紀要』(8) 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
『明治薬科大学研究紀要』(43) 明治薬科大学
『名古屋大学大学文書資料室紀要』(22) 名古屋大学大学文書資料室
『日本医師会雑誌』142(7-12), 143(1-8) 日本医師会
『日本獣医史学雑誌』(51) 日本獣医史学会
『日本歯科医史学会誌』30(3-4) 日本歯科医史学会
『鳴滝紀要』(24) シーボルト記念館
『労働科学』89(1-6) 労働科学研究所
『労働の科学』68(10-12), 69(1-9) 労働科学研究所
『STETHOSCOPE』(211-215) 日本医学切手の会会報
『斯文会々報』(70-72) 斯文会
『斯文』(123-125) 斯文会
『湘南史学』(23) 東海大学大学院日本史学友会
『適塾』(46) 適塾記念会
『薬史学雑誌』49(1) 日本薬史学会
『洋学史研究』(31) 洋学史研究会

日本医学会だより

JAMS News

2014年10月 No.52
日本医学会

□日本医学会シンポジウム

第146回シンポジウムは「がんの非侵襲的診断法の最前線」をテーマに、12月18日(木)13:00~17:00, 日本医師会館大講堂において開催する。組織委員は、坂元亨宇, 西尾和人, 藤井博史の各氏。参加申込みは郵便はがき, FAX, 本会HP (<http://jams.med.or.jp/>) にて受付中。参加費無料。詳細はHPに掲載。

□日本医師会・日本医学会合同シンポジウム

「子宮頸がんワクチンについて考える」をテーマに、12月10日(水)13:00~16:30, 日本医師会館大講堂において日本医師会と合同でシンポジウムを開催する(総合司会:小森 貴日本医師会常任理事, 座長:高久史磨日本医学会長)。詳細は本会HPに掲載予定。参加費無料。

□医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を9月3日に開催し、平成26年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

本選考は、日本医師会から日本医学会に委任されており、今年度の推薦数:医学賞19, 奨励賞25を審査した。

選考の結果、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は3名、奨励賞は14名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・ピロリ菌による胃癌発症の分子機構/畠山昌則(東大・微生物学)
- ・癌の分子標的予防法の確立とその応用に向けての研究/酒井敏行(京府医大・分子標的癌予防医学)
- ・自己免疫疾患に対する分子生物学的解析/山本一彦(東大・アレルギー・リウマチ学)

〈日本医師会医学研究奨励賞〉

- ・中枢神経・肝臓クロストークの分子メカニズムの解明/井上 啓(金沢大脳・肝インターフェースメディスン研究センター)
- ・筋萎縮性側索硬化症の新規モデル動物作成による発症病態の解明/河原行郎(阪大・神経遺伝子学)
- ・癌細胞特異的なTGF- β シグナル伝達制御機構の統合的同定解析/鯉沼代造(東大・分子病理学)
- ・癌上皮間葉移行におけるmicroRNA転写機構の解明/水口義昭(日医大・消化器外科学)
- ・下部尿路機能障害における全身および局所血流障害からみた病態解明と臨床応用/松本成史(旭川医大・腎泌尿器外科学)
- ・滲出型加齢黄斑変性の発症, 進展における全身的因子の解析/柳 靖雄(東大・眼科学)
- ・超高齢化社会における失明予防のための緑内障ビックデータによるデータマイニング/中澤徹(東北大・眼科学)
- ・遺伝性不整脈の新たな原因遺伝子と機序の解明ならびに個別化療法の確立/渡部 裕(新潟大・循環器内科学)

- ・心筋症の発症・進展における樹状細胞の意義/安斉俊久(国立循環器病研究センター)
- ・思春期特発性側弯症に対する次世代型3次元変形矯正固定術: アナトミカル・ロッドを用いたオーダーメイド外科治療への展開/須藤英毅(北大・脊椎・脊髄先端医学)
- ・内耳再生医療をめざした内耳薬物動態の解明/神崎 晶(慶大・耳鼻咽喉科学)
- ・ヒト人工多機能幹細胞由来心筋細胞 Extracellular matrix (ECM) グラフトを用いた心不全治療の開発/宮城泰雄(日医大・心臓血管外科)
- ・増殖因子と細胞内シグナル制御による糖尿病網膜症の病的血管の再生治療/鈴間 潔(長崎大・眼科学)
- ・ヒト無精子症の病態解明および臨床医学への応用/宮本敏伸(旭川医大・産婦人科学)

◆日本医学会分科会利益相反会議

「医学研究のグローバル化と COI マネージメント」をシンポジウムテーマとした第5回日本医学会分科会利益相反会議を曾根三郎日本医学会利益相反委員会委員長の総合司会の下、11月28日(金)13:00~16:20、日本医師会館大講堂にて開催する。参加希望者は、本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)にて、申し込まれたい。先着80名。参加費無料。

当日は総会に引き続き、「日本医学会分科会における COI マネージメントのアンケート結果報告」「フォルトレザ改訂ヘルシンキ宣言の基本理念と臨床研究—作業部会の一員として—」「欧米の臨床研究にかかる COI マネージメントの現状と動向」「製薬企業による研究機関への研究支援とその公開の在り方」「臨床研究にかかる企

業の役務提供をどう考えるか」のそれぞれの講演が行われる予定。

◆日本医学雑誌編集者会議

「不正論文と編集者の責務」をシンポジウムテーマとした第7回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第7回シンポジウムを北村聖日本医学雑誌編集者組織委員会委員長の総合司会の下、11月5日(水)13:00~16:30、日本医師会館大講堂にて開催する。参加希望者は、本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)にて、申し込まれたい。先着80名。参加費無料。

当日は総会に引き続き、「編集ガイドラインとCOI」、「統一投稿規定から“Recommendations”へ: ICMJE2013年改訂」、「COPEとそのガイドライン」、「研究不正行為の実効性ある対応に向けて」、「ミスコンダクトと学会の対応—日本高血圧学会のケース—」、「不正論文の元凶: ピエドとIF」のそれぞれの講演が行われる予定。

◆移植関係学会合同委員会

第32回移植関係学会合同委員会が9月19日、厚生労働省で開催された。脳死下臓器移植の進展を踏まえ、より効果的な施設認定・取り消しを行う仕組みの検討が協議された。従来、移植施設が患者を日本臓器移植ネットワーク(JOT)に登録する際は臓器別の関係学会による適応検討を受けていたが、今後は一定の基準を満たした施設であれば施設内の適応評価のみでJOTへの登録を可能とすること、関係学会は移植の実施状況について事後的に把握すること等が承認された。今後、厚労省にガイドラインの改正について検討を求めることになった。